

中野区教育委員会会議録

令和7年第34回定例会

令和7年12月19日

中野区教育委員会

令和7年第34回中野区教育委員会定例会

○日時

令和7年12月19日（金）

開会 午前 10時00分

閉会 午前 11時56分

○場所

中野区役所7階 教育委員会室

○出席委員

教育委員会教育長 田代 雅規

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

教育委員会委員 岡本 淳之

教育委員会委員 高野 治人

教育委員会委員 平本 紋子

○出席職員

教育委員会事務局次長 石崎 公一

参事（子ども家庭支援担当） 森 克久

子ども・教育政策課長 神谷 万美

学校地域連携担当課長 保積 武範

指導室長 井元 章二

学務課長 佐藤 貴之

子ども教育施設課長 原 太洋

○書記

教育委員会係長 藤井 玉枝

教育委員会係 網野 愛子

○会議録署名委員

教育委員会教育長 田代 雅規

教育委員会委員 岡本 淳之

○傍聴者数

5人

○議事日程

1 報告事項

(1) 教育長及び委員活動報告

- ① 12月13日 中學生意見発表会
- ② 12月16日 目黒区立五本木小学校視察
- ③ 12月17日 桃園第二小学校ユニバーサルデザイン特別授業

(2) 事務局報告

- ① 令和8年度中野区立小・中学校給食費の改定について（学務課）
- ② 中学校特別支援教室巡回指導拠点校の移転について（学務課）

2 その他

(1) フリーステップルーム訪問

○議事経過

午前 10 時 00 分開会

田代教育長

おはようございます。定足数に達しましたので、教育委員会第 34 回定例会を開会いたします。

それでは、議事に入ります。

本日の会議録署名委員は岡本委員にお願いいたします。

本日の議事は、お手元に配付の議事日程のとおりです。

なお、本日は「その他」で、フリーステップルームの訪問を予定しております。

それでは、日程に入ります。

<教育長及び委員活動報告>

田代教育長

報告事項に入ります。

初めに教育長及び委員活動報告をいたします。

事務局から報告をお願いします。

子ども・教育政策課長

報告いたします。

12 月 13 日、中学生意見発表会。12 月 16 日、目黒区立五本木小学校視察。12 月 17 日、桃園第二小学校ユニバーサルデザイン特別授業、いずれも田代教育長が出席されております。

報告は以上です。

田代教育長

各委員から補足、質問、その他の活動報告がございましたらお願いいたします。

高野委員

12 月 10 日に、医師会館で学務課長らとともに、5 歳児健診の打合せ会を行いました。5 歳児健診は来年度から試験的に始まるのですが、支援の必要なお子さんを早期に発見して、早期の支援につなげるという事業です。まだ準備段階ですので、また進行があれば、ご報告いたします。

また、12 月 12 日に上鷺宮小学校の学習発表会を視察してまいりました。例年、学芸会と展覧会を隔年で開催しておりまして、今年度は学芸会の年でありましたが、初めて学習発

表会の形式で行われました。校長先生のお話では、学芸会では演劇がメインであり、授業の中で時間を確保するのが難しいということで、国語、社会、音楽の授業の中で学習した内容を、物語形式で発表しておりました。

劇もありましたが、それだけでなく、学習内容が含まれており、とても興味深い内容でした。

以上です。

岡本委員

私も 12 月 13 日の中学生意見発表会に伺ってきました。各校の中学生の生徒さん、お一人ずつ代表して、ご自身の実体験に基づいたお話をされていて、とてもよかったなと思います。

ちなみに、うちの中学 2 年の次男は、夏の人権作文で、先生が子どもに連帯責任を課するのは人権侵害だと書いたそうです。私も全くそのとおりだと思いますが、そういう発表はこういうオフィシャルな場では見られませんので、それは当たり前ののですが、もっと多様な中学生の考えが聞けるような場所が、今後どんどん増えていけばいいなと思いました。それも、大人に指導されず、「こうやれ」と言われるのではなくて、中学生自身がつくっていくような場になっていけばすてきだなと思いました。

以上です。

田代教育長

ほかに、委員から活動報告がございましたらお願いいたします。よろしいですか。

それでは最後に私から、三つのことについて、ご説明いたします。

最初に、12 月 13 日に中学生の意見発表会に参加してまいりました。第 37 回の中学生の意見発表会が、なかの Z E R O ホールで行われました。中野区内の公立中学校と私立中学校の代表生徒 11 人が自分の意見を発表しました。年賀状の問題や、性別の問題、外国人観光客の問題、ありがたいの大切さなど、身近な問題や学校生活の中で、それぞれが感じたことを発表していました。中にはデータをきちんと調べて、自分の意見と併せて発表している生徒さんもいて、すばらしい発表会でした。また、今年は発表者だけでなく、各学校から発表者の友達も応援に駆けつけ、総勢 230 名以上の参加がありました。

次に、12 月 16 日に目黒区の五本木小学校の情緒障害学級の視察に行つてまいりました。五本木小学校の情緒障害学級 4 組には、現在 18 人の児童が通っています。目黒区では、学級の対象児童は、選択性かん黙と自閉症で、他傷行為等のある児童は入級の対象とはして

いないようです。

参加しての感想としては、小学校の場合、6 学年分の教室整備が必要であること。児童 8 人に対して、教員の配置が 1 人で、6 学年全員の教員が配置されないため、2 学年を担当する教員もいること。さらに区独自の教員を採用する必要があるため、教員の確保が難しいと区の担当者も話していました。

さらに、区内に学級が 1 校しかなく、目黒区全体から通学してくるため、特に小学校の 1 年生などは、通学の方法を検討する必要があるなど、課題がたくさんあることが改めてわかりました。

最後に、12 月 17 日、桃園第二小学校の 5 年生の児童を対象に、新校舎のユニバーサルデザインの授業を行ってまいりました。

これは 10 月 20 日に、桃園第二小学校の児童が学校の授業で、新校舎のユニバーサルデザインの案を話し合い、その結果をまとめて、酒井区長に提案に来ました。その提案書を一つずつ、施設課の職員が校舎建築の専門家と検討して、その結果を授業で説明しました。自分たちの意見を真剣に大人が考えて、対応してくれたことに、子どもたちも先生方も大喜びでした。説明を聞く態度も非常によく、感心いたしました。

以上で報告事項を終わります。

<事務局報告>

田代教育長

続いて、事務局報告に移ります。

事務局報告の 1 番目「令和 8 年度中野区立小・中学校給食費の改定について」の報告をお願いいたします。

学務課長

「令和 8 年度中野区立小・中学校給食費の改定について」報告いたします。

学校給食は、児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、学校における食育の推進を図ることを目的としており、教育的役割がございます。区では、安全安心な食材選びや伝統的な食文化の継承に配慮し、給食内容の充実を目指してきました。引き続き中野区が目指す給食提供を実現するため、物価高騰の影響や、令和 7 年産米の価格高騰等の影響を鑑みて、令和 8 年度の給食費を改定いたします。

物価高騰の影響を受け、献立内容を工夫して対応しているところもございますが、今後この状況が続くと、給食の運営に支障をきたす可能性がございますため、令和 8 年度中

野区立小・中学校給食費 1 食単価をそれぞれ表のとおり改定いたします。

小学校低学年がプラス 45 円の 350 円、中学年がプラス 50 円の 380 円、高学年がプラス 55 円の 410 円、中学校がプラス 75 円の 480 円といたします。

主な食材の価格変動としましては、飲料牛乳が前年度に比べて、プラス約 2 円となり、昨年度に引き続き、値上げとなっております。牛乳代金は給食 1 食単価のうち、16%から 20%程度にあたり、ほぼ毎日提供するものであるため、その値上がりは給食会計を非常に圧迫するものでございます。

パン、麺については、毎年少しずつ価格上昇が見られ、小麦の価格は高止まり状態でございますが、輸送費や人件費等の上昇により、今後もパンや麺の価格は上昇する可能性があります。

米については週 3 から 4 程度、給食にご飯を提供しており、給食 1 食単価のうち、15%から 17%にあたるため、精米価格の動向も非常に影響が大きいところです。令和 7 年度も米の価格が高止まりし、前年度からの価格上昇率 70%を超えているところであり、今後も概算金上昇や収穫量の低下により、米の価格が上昇することが予想されます。

これらの影響を勘案し、給食費の改定を行うところでございます。

報告は以上です。

田代教育長

ただいまの報告につきまして、質問やご発言がありましたらお願いいたします。

伊藤委員

ご説明ありがとうございます。ご説明にありましたように、物価の高騰が著しく、本当に子どもたちの健康で楽しい給食が保てるか、大変心配なところですので、ぜひ値上げということで、対応していただけるとよいと思います。

子どもたちの様子を拝見していても、子どもにとっては給食で苦手なものが食べられたり、また、季節、こういった食材がおいしいのだとか、いろいろなことを中学生まで、皆さん、学んでいらっしゃるの、そういった食育ということも含め、ぜひ価格の適正な維持をお願いできればと思います。

ありがとうございます。

田代教育長

ほかに、質問、ご発言がありましたらお願いいたします。よろしいですか。

それでは、本報告は終了いたします。

次に、事務局報告の２番目「中学校特別支援教室巡回指導拠点校の移転について」の報告をお願いいたします。

学務課長

「中学校特別支援教室巡回指導拠点校の移転について」報告いたします。

令和３年度に情緒発達に課題のある生徒に特別な指導を行う特別支援教室を全中学校に設置し、当初は１校、令和４年度からは２校を巡回指導拠点校として実施してきたところでございます。

今般、巡回指導拠点校における状況の変化があったため、生徒に対し、よりきめ細かい特別支援教育を実現するため、小中学校長会等で協議を行い、巡回指導拠点校の移転を実施します。

背景と課題認識としましては、中野中学校において、令和６年度よりＮ組（チャレンジクラス）を設置しており、在校生が増加傾向にあり、今後教室が不足する可能性があります。生徒が学ぶための静かな環境や教員の打合せスペースの確保等、学校運営に支障をきたす恐れがあることから、巡回指導拠点校と不登校対策の機能を併せ持つことで、管理職及び教員の校内調整の難しさによる学校現場の負担感等も懸念されるところです。

Ｎ組に入る可能性のある生徒が複数存在し、今後も増加が見込まれることから、巡回指導の継続的な強化と健全な学校運営のために、拠点校の移転が必要と判断したところです。

令和６年度及び令和７年度の生徒数、令和８年度のＮ組の入級生徒の予測値は、記載のとおりです。

今後の対応方針としましては、拠点校を中野中学校から緑野中学校に、令和９年度に移転する予定で考えてございます。

理由としましては、緑野中学校は、巡回校である第七中学校、北中野中学校、緑野中学校、中野中学校、明和中中学校への移動が比較的やすく、教室にも余裕があり、巡回指導拠点校としての体制をより充実させることができる学校環境であるためです。

また、現状、拠点校である中野東中学校についても、令和８年度に日本語学級が設置される予定であり、今後、他の中学校への移転の検討も行っていきます。

今後のスケジュールについては記載のとおりでございます。

報告は以上です。

田代教育長

ただいまの報告につきまして、質問やご発言がありましたらお願いいたします。

伊藤委員

ご説明ありがとうございます。ご説明にあったように、緑野中学校は巡回校への移動がしやすいということで、大変よいアイデアではないかと思いました。

やはり、移転というのは現場にご負担もあることだとは思いますが、考え方を変えますと、巡回の拠点校になることで、そのほかの先生方や学校全体が何かを得る、学ぶということもあるように思われますので、今後も柔軟にご対応いただいて、多くの学校が、多くのことを学べるような体制という観点からも、こういった対応を推し進めていただくのはよいかもしれないと考えました。

以上です。

平本委員

ご説明ありがとうございます。私も移転の方針については賛成でございます。

今後、日本語学級自体が、中野東中学校以外に設置が拡大されていく可能性も高いのかなと思っていますので、日本語学級の設置学校の状況等も見ながら、各学校の教室のスペースなども踏まえて、全体のバランスを見た拠点校の移転をご検討いただきたいなと思っています。

以上です。

田代教育長

ほかに質問やご発言はございますか。よろしいですか。

それでは、本報告は終了いたします。

<その他>

田代教育長

続いて「その他」、フリーステップルームの訪問を行います。

傍聴の方は、恐れ入りますが、ここで退室をお願いいたします。

ご退室の前に、次の開催について、報告をお願いいたします。

子ども・教育政策課長

次回の教育委員会は、1月9日金曜日、10時から、区役所7階教育委員会室で行います。

なお、諸事情により急遽変更になる場合がございます。中野区のホームページにてご確認をお願いいたします。

田代教育長

それでは、傍聴の方々はここで会場の外へご退室をお願いいたします。

それでは、これからフリーステップルーム訪問を行いますので、ここで定例会を休憩します。

(午前 10 時 17 分 休憩)

(午前 11 時 55 分 再開)

田代教育長

それでは、会議を再開します。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、教育委員会第 34 回定例会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

午前 11 時 56 分閉会